

## CCBJニュースレター 第1号

2014年1月30日

### (CCBJ会頭からのメッセージ)

会員の皆様

今月から在日ブラジル商業会議所（CCBJ）では、会員の皆様向けに毎月最終木曜日にニュースレターの配信を開始する運びとなりました。当会議所は会員の皆様とのつながりをより密接にし、CCBJのウェブサイトやFacebookページに法人会員の皆様の企業情報などを掲載していただけるよう、インターネットによる情報発信の充実に取り組んでおります。

ニュースレター第1号では、CCBJ顧問をお務めいただいている上智大学の堀坂浩太郎教授のご協力を仰ぎ、今年のブラジルと日本の経済展望について分析をしていただきました。

今号ではまた、ブラジル銀行と共同で行っている日本とブラジル間のビジネス向けコンサルティングサービスの「CCBJブラジルデスク」についても取り上げております。

最後になりましたが、当会議所と日本ブラジル中央協会の共催で24日に行われましたアンドレ・コヘア・ド・ラーゴ駐日ブラジル大使の歓迎レセプションにご出席を賜り誠にありがとうございました。残念ながら当日私は出張のため参加できず申し訳ありませんでした。

あらためまして平素よりご協力いただいております皆様に心からの感謝を捧げるとともに、2014年が日本・ブラジル両国にとって実り多い年となるよう期待しております。

CCBJ会頭  
マルコス・トゥリーニ

## (意見)

2014年—ブラジルの存在感を永続的に高める年に

上智大学

名誉教授

堀坂浩太郎

6月のサッカー・ワールドカップ、そして10月には大統領選挙と、今年はブラジルが世界的にも脚光を浴びる年となる。それは地理的に最も遠い日本においても言えることで、すでに日本のマスメディアからも、ブラジルの支局員の増員や報道体制の強化の話がもれ伝わってくる。ブラジルの話題が日を追ってテレビ画面や新聞紙面に増えてくるのは間違いないところだが、課題は、ブラジルへの関心をイベントに伴う一過性のものに終わらせずに、2年後のリオデジャネイロ五輪、そしてさらにそれ以降につなげて永続的な関心へと発展させることにある。

### 2つのラテンアメリカ観

この点で、気になる最近の現象がある。それは「2つのラテンアメリカ」といった見方が日本の対ラテンアメリカ・ビジネス関係者の間で急速に広がってきたことである。ラテンアメリカの政治・経済の動静に特に関心をもつ人々の間でのことではあるが、「太平洋を共有するラテンアメリカ諸国」と「大西洋沿岸のラテンアメリカ諸国」の2つに、である。

前者の中核を成すのは北からメキシコ、コロンビア、ペルー、チリの4か国で、これらの国は2012年6月に「太平洋同盟」(Aliança de Pacífica)を結成した。4か国合わせた人口は約2億人、GDP合計は2超ドルでラテンアメリカの3分の1を占める。経済開放によって4か国間での貿易や投資の相互交流、人やサービスの円滑な流れをつくることを目的としているが、最大の特徴は、アジア太平洋地域の発展を見据えて、4か国がスクラムを組みこの地域との関係づくりを図ろうとしているところにある。

日本にとってブラジルが、ラテンアメリカの中では最大の経済パートナーであることは異論のないところだ。同国は、農業、鉱業、石油などの一次産品から始まり、自動車、製鉄、化学などの製造業、そして地域最大規模の消費マーケットと、ラテンアメリカの中では群を抜く産業のバラエティと将来性を誇っている。このためブラジル投資に関心を有する日本企業は後を絶たないが、「太平洋同盟」の登場で、それとの比較感で大西洋岸の国々、特にベネズエラ、ブラジル、アルゼンチンを一体として捉え、その動静を観察する思考が強くなっている。

#### 「太平洋同盟」の強み

2011年以降の経済減速の中で、ブラジル政府はインフレ抑制の一方で何とか経済を活性化させようと四苦八苦している。その結果、その政策はしばしば国内産業保護主義的とみなされがちである。それに、ベネズエラの国家資本主義的な経済運営やアルゼンチンの

大統領による市場を無視した恣意的な政策のイメージがオーバーラップし、市場開放的な太平洋岸諸国に対し、市場閉鎖的な大西洋岸諸国といった見方が定着しかねない情勢にある。

日本との関連で「太平洋同盟」諸国の強みは、2005年4月にメキシコが、2007年9月にはチリ、2012年3月にはペルーがそれぞれ日本との間で二国間経済連携協定（EPA、Economic Partnership Agreement）、すなわち自由貿易協定（FTA、Free Trade Agreement）を締結した点で、さらに本年早い段階でコロンビアも締結する見通しである。日本側にはさらに、太平洋同盟のスピード感が強く印象づけられている。4か国が同盟の結成に合意した2011年4月の第1回首脳会議から関税撤廃で合意した2013年5月まで2年余りに、計7回の首脳会議が開催されている。アジアでは最初となった日本をはじめ、同盟のオブザーバー国数が25か国と急速に増えている点も印象的だ。

### 分裂した構図を作らない積極的な努力を

こうした太平洋岸の活発な動きを、ブラジル経済界の一部も気にし始めたようだ。昨年（2013年）9月にベロオリゾンテで開催された日伯両国経済界による第16回日本ブラジル経済合同会議（Brazil-Japan Economic Joint Meeting）の席上、ブラジル側から日本とのFTA締結の可能性を研究しようとの提案がなされ、日本側の代表が驚いたと伝えられている。

実際には、両国間のFTA締結は容易ではない。ブラジルが隣国のアルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、ベネズエラと結成しているメルコスールが関税同盟（Customs Union）であるため、単独での交渉ができないからだ。それだからこそ、ブラジルへの注目が集まるこの年を好機として捉え、日本およびアジアで、ブラジルの存在感をアピールし定着させる積極的な努力が双方で必要とされる。その中には、ブラジル＝日本間の直接的な様々な交流に加え、南米の半分を占める「大陸国家」ブラジルの地理的特徴と活かして、太平洋同盟諸国それぞれと手を組んだ、例えばサプライチェーンの形成や大陸横断的なインフラの整備といったことも考えられよう。何よりも、ラテンアメリカが分裂している、といった構図を作らない努力が必要とされている。

(経済)

## **Brazilian Official Guide on Investment Opportunities**発行

連邦政府は11月、ブラジルの経済強化や連邦・州・市町村レベルでの多様化のための国家戦略の展望における主な投資プロジェクトの紹介を目的とする"Brazilian Official Guide on Investimento Opportunities"の第3版を発行した。

全331ページでダウンロード可能。外国人投資家向けに発電・送電、石油・天然ガス、交通など7つの分野に分類された情報を掲載している。発電・送電分野だけで2013年から2017年までに640億ドルの投資が予想されており、外国企業にもビジネスチャンスが見込まれる。

巻末には投資額や分野など各別のプロジェクト詳細を掲載。ダウンロードはこちらから：  
[http://www.mdic.gov.br//arquivos/dwnl\\_1385575165.pdf](http://www.mdic.gov.br//arquivos/dwnl_1385575165.pdf)

出典：開発商工省

### 小零細企業向けW杯特別融資

小零細企業向けW杯特別融資（FAT Turismo）の融資期間が2014年末まで延長された。W杯特別融資はブラジルワールドカップに関連した事業展開を予定する年商2500万リアル以下の小零細企業を対象に設けられた資金貸付制度。

融資の申し込みはブラジル銀行の窓口で受け付けている。同制度の紹介ビデオはこちらのリンクで視聴可能：  
<http://www.copa2014.gov.br/pt-br/noticia/linha-de-credito-para-micro-e-pequenas-empresas-com-projetos-para-a-copa-e-prorrogada-ate-o>

出典：2014W杯ブラジル政府公式サイト（Portal da Copa）

## **CCBJ**ブラジルデスク

在日ブラジル商業会議所（CCBJ）は、ブラジルや日本に進出・投資を検討する企業向けコンサルタントサービスをご提供しています。CCBJブラジルデスクでは、ブラジル銀行と共同で金融取引やビジネスマッチングに関する相談業務からM&Aのサポート、ブラジル現地視察、ブラジル関連情報や企業情報の提供などを行っております。

詳細についてはホームページをご覧ください：[http://www.ccbj.jp/img/galeria\\_fotos/11.pdf](http://www.ccbj.jp/img/galeria_fotos/11.pdf)

## **CCBJ**ホームページとFacebook

在日ブラジル商業会議所（CCBJ）は、Facebookにアカウントを作り、その活動や行事を紹介しています。

会員の皆様の中で、日伯間の通商・文化に関連した情報・発表資料、イベント情報などを公表されたい場合、CCBJのFacebookページの活用をお勧めします。

CCBJ事務局にイベント情報などをお送り下さるだけで結構です。

CCBJのFacebookアドレスは以下の通りです。ご利用ください。

<https://www.facebook.com/pages/Câmara-de-Comércio-Brasileira-no-Japão/186409578198607?ref=hl>

CCBJホームページ：[www.ccbj.jp](http://www.ccbj.jp)

皆様のご協力をお願いいたします。